

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	みなみの療育室 児童発達支援みなみ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

分

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間でのコミュニケーションを密に行うことが出来ている	・ミーティングで、各職員が意見を出しやすい環境作りを行っている	・ミーティングを通して、職員間での情報共有や支援力の向上を図る
2	・小集団での療育を行っている	・マンツーマンでの療育を行っており、お子様に合わせて支援内容等を調整している	・職員間で連携を図りながら、その日のお子様の状態に合わせて適切な支援を提供する
3	・定期的に社内研修を開催し、支援の質の向上を行う	・グループワークや事例検討等も取り入れている	・多様な分野の研修を取り入れる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所や地域との交流	・地域性もあり、地域との関わりを密に行うことが難しい	・地域資源を活用したり、ボランティア活動に取り組んでいく
2	・保護者同士や兄弟間での関われる場が少ない	・ご家族が参加できるイベントを設けているが、保護者や兄弟間に関われる機会が少ない	・就労されている保護者様がほとんどのため、負担がないよう適宜保護者へ確認をしつつ家族間で関われる場を設けていきたい
3	・非常時の対応の周知が十分にできていない	・避難訓練等を実施しているが、全保護者へ十分に伝わっていなかった。また、具体的な避難場所も周知が不十分であった	・BCPや安全計画を踏まえた資料を作成し、SNS等を活用するなど保護者へ伝える手段も含め検討していく

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みなみの療育室 児童発達支援みなみ
------	-------------------

公表日 2026年3月2日

利用児童数：8 年 月 日 回収数 5

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2				・限られた空間ではありますが、活動内容や人数に応じてグループ分けを行った
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1		1		・毎月、安全点検とあわせて環境点検を実施し、必要に応じて環境改善を行っております
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1	・利用開始したばかりで、まだ分からない	・今後も専門性の向上に努め、個々の特性に応じた支援の充実を
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1	・利用開始したばかりで、まだ分からない	・支援プログラムに基づき支援を行っており、今後も支援の質の向上に努めてま
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1			・利用開始したばかりで、まだ分からない	・子どもの特性や保護者の意向を考慮し、課題の客観的分析を踏まえて個別支援計画を作成しております
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4			1	・利用開始したばかりで、まだ分からない	・個別支援計画書に、各項支援内容を記載しております
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			1		・個別支援計画書に基づき、目標に沿っ
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				・屋内、屋外と交互に取り組んでもらえて子どもも喜んでいる	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	3		1	1		・公共の施設等で交流する場を設けております
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				・ご契約時に説明させて頂いております
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	2	1		・次年度より頻度を上げて実施できるよう検討しております
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				・今後、園と情報提供を行う場を設けてほしい	・状況に応じて連携会議の場を設けております。また、保護者や園より要望が
保護者 への 説明等	16 定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				・いつも報告メールが届いて分かりやすい ・写真も様子が伝わりとても良い	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	3		・本年度は秋祭りで保護者会を開催しました。次年度より頻度を上げて実施できるよう検討しております
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1				・情報伝達の手段として、公式LINEやお電話、要望があれば面談の場を設けてお
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		1		・ホームページやSNSにて随時発信しております
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			3		・今後、事業所の手引きにて保護者様が確認できるよう準備をしております
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3		・火災、地震、風水害、不審者対策の避難訓練を実施しております
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1				・今後、事業所の手引きにて保護者様が確認できるよう準備をしております
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1				・事故や怪我発生時には速やかに保護者に連絡を行っております

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				・療育に行くことを毎回楽しみにしている言葉が多く聞かれていてうれしい
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				・いつも良く関わって頂いて、子どもが何より楽しそうで療育の成果も見られて満足

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		みなみの療育室 児童発達支援みなみ				公表日	2026年3月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		粗大運動等、身体を大きく動かしたい時は近隣の公園に行き、思いっきり動ける環境づくりを心掛けています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	入口付近の滑りやすさについては、滑り止めテープやマットを用いて対応を行っています	建物の構造上、入り口付近のバリアフリー化が困難。滑り止め等を使用し、急坂への対応を継続していきたいと思っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	事業所ごとに申し送りや共有事項を確認する MTG を開催しています	細かい情報が全職員に伝わっていない事例が発生しているため、報連相をより気に掛けていきたいと思っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		園や相談支援事業所と連携を図ることはできているが、児童発達支援のサービスに関わるアンケート等の評価を行っていないため、今後取り入れていきたいと感じます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		2ヶ月に1回程度の頻度で、社内研修会を開催しています		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員による話し合いの場を設定し、子どもの支援方針を決定しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			フォーマルなアセスメントは、今後仕組みの中に取り入れていきたいと検討しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		専門職や指導員が相互にやり取りをし、子どもに合った活動内容を設定しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日々、活動内容を更新し、子どもに合った支援を見極めながら関わっています		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		長期休暇等を活用し、年長さんと放デイの子どもが関わる機会を提供し、集団活動への参加を促しています		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	共有のためのMTGが行っています。子どもの変化や関わり方について職員間で共有しています		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		共有のためのMTGが行っています。子どもの変化や関わり方について職員間で共有しています		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々、記録を行い、保護者へ報告をしています。必要な場合は別途、ノートに記録をしています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			園や相談支援事業所との連携はできていますが、主治医やセンター等の関わりも今後深めていきたいと思っています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要がある場合、移行前に学校や園へ訪問し、会議を開催しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要がある場合、移行前に学校や園へ訪問し、会議を開催しています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	今年度、地域のセンターの研修に参加しました	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		児童発達支援では、外出活動を通して地域の方と自然の中で関われる場を設けていますが、枠組みとしては設けていないため、今後強化していきたい部分です
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		モニタリング面談や送迎時に情報共有をさせていただいています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	ペアレントトレーニングにも般化できる研修に参加をしています	家族を対象とした研修の開催には至っていません。今後、家族支援については強化していきたいと考えています
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング面談にて確認をしています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談や困りごとをお聞きし、必要に応じて、事業所で面談をさせていただいています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	放デイの行事に児童発達支援に通っているきょうだい児の参加はありました	児童発達支援のお子様に対してもお祭りや親子行事の参加を今後促していきたいと思っています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や困りごとをお聞きし、必要に応じて、事業所で面談をさせていただいています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムにて活動の様子を発信しています	
	42	個人情報取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報伝達のためのツールをいくつか設定しております(電話・公式LINE・面談)	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域住民を招待するまでにはいまだ至っていないため、今後取り入れていきたいと思っています
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に訓練を行っています	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みなみの療育室 訪問支援事業所みなみ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 8日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	担任の先生の負担感にも配慮をし、支援を行っている	支援後や日々の送迎時に担任の先生とやり取りを行い、最近の様子や困り感の聞き取りを行っている	担任の先生とは密にやりとりを行うことができますが、今後保育所等訪問支援を再開する際は、会議等の公の場も適宜設定し、関係者間で意見のすり合わせを行っていききたい
2	専門職を訪問支援員として配置している	専門職が直接、対象児の学校場面を観察し、アセスメントに繋げることができている	アセスメント結果や行動観察で得られた情報を、わかりやすい言葉で先生方に細かく共有する機会を設けていきたい
3	利用児童が放デイも併用しているため、学校以外での対象児の様子を把握することができ、それを保育所等訪問支援にも活かすことができる	放デイの様子を踏まえた対象児の情報を担任の先生と共有している	プライバシーに配慮しながら、日々の情報をこまめに共有し、ニーズや困りごとの把握・更新を行っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	困りごとやニーズの定期的な把握が難しい	保護者・訪問先施設・事業所の各所での認識が異なり、ニーズや困り感にずれが生じている	今後、各所で集まる機会を定期的に設けていきたい
2	定期的な訪問先施設との意見のすり合わせが難しい	学校側と双方の都合が合いにくく、定期的な会議の開催が難しい	担任の先生との意見のすり合わせ以外に、関係する先生全員に対しても意見のすり合わせの機会を設定したいと感じる
3	非常時対応についての周知	非常時の対応について訪問先施設へ十分な共有ができていない	今後、訪問先施設に対して非常時の事業所の対応を伝え、備えていく必要がある

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	みなみの療育室 訪問支援事業所みなみ
------	--------------------

公表日 2026年3月2日

利用児童数 3 年 月 日 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			2	・教具教材の内容が分からない	・教具教材は訪問先で使用するのが基本的ですが(教科書・ドリル等)。必要があればメモ用紙等に、見本を提示する等の工夫を行っています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	1				・今後もプライバシーに配慮して対応を行います。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1	1		1		・専門職を配置することで、実際の場面を見てアセスメントや支援を行い、他職員へ情報共有をしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1			・訪問先の職員との兼ね合いもあり、連携が難しく感じることがある	・訪問先の環境や意向もあるため、訪問支援員が思い描く支援を行っていくにはどうしても難しい場合があります。そこは先生方と密に連携を図って、すり合わせを行い、助言や支援を行っていく必要性を感じています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	1			・担任の先生との共有は上手くいっていますが、他の支援の先生との連携が難しいようです。	・訪問先の環境や意向もあるため、訪問支援員が思い描く支援を行っていくにはどうしても難しい場合があります。そこは先生方と密に連携を図って、すり合わせを行い、助言や支援を行っていく必要性を感じています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	1			・学校の支援員との兼ね合いもあり、みなみさんが思うような支援が出来ていないと感じています。	・訪問先の環境や意向もあるため、訪問支援員が思い描く支援を行っていくにはどうしても難しい場合があります。そこは先生方と密に連携を図って、すり合わせを行い、助言や支援を行っていく必要性を感じています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1				2	・訪問先施設の意向も踏まえ、支援を行っております。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1				・支援開始前やモニタリング時に、支援計画書についてご説明させていただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3					
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1				・必要に応じてお電話や公式LINEにてご相談を承っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					

説明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1			情報伝達のためのツールをいくつか設定しております(電話・公式LINE・面談)
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	1			・現在の状況(学校側)に難しいのではないかと思います。 ・支援開始前や年度の変わり目に連携会議を開催させてもらっています。話し合いは、双方の都合がつきにくいこともあり、頻繁には難しいのが現状です。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			2	・緊急時はお電話にて訪問先施設と連絡を取るようになっています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1	・訪問先の安全面の方針に従って支援を行うようになっています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	1			・訪問支援の難しさ(学校との兼ね合い)をととても感じます。家庭としては事業所さんの意向を尊重して頂きたいです。 ・事業所もご家庭のニーズをできる限り尊重し、支援を行っていきたく感じております。

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026年3月2日
みなみの療育室 訪問支援事業所みなみ	利用児童数	3 回収数 1

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		1		児童の困り事が解消されているか実際は細かく分からないが、指導する側としては、付き添ってもらうことで負担が軽減されて助かっている	課題やニーズを定期的に話す機会を設けていく必要性を感じました。今後保育所等訪問支援を実施する際は、定期的な連携会議の場を設定していきます。
5 事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月2日				
みなみの療育室 訪問支援事業所みなみ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
営 運	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・専門職を配置し、学校側と連携を図っています。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・支援に入る職員に限られているため、今後保育所等訪問支援を再開する場合は事業所全体で行っていく必要性を感じています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1		・保育所等訪問支援に関する研修は実施していないため、今後は取り入れていくことを検討していきたいと思います。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・専門職を訪問支援員に配置することで、様々な観点からアセスメントができるように工夫を行っております。	・専門職以外の職員も、個別支援計画書の作成に関与し、包括的な観点から作成をしていく必要があると感じます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・児童発達管理責任者のほかに、専門職の視点も個別支援計画書に反映しています。	・専門職以外の職員も、個別支援計画書の作成に関与し、包括的な観点から作成をしていく必要があると感じます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・支援の開始前に学校と会議を開催し、意見や意向のすり合わせを行っています。	・双方の都合もあり、会議の回数が限られているため、可能であればもう少し頻度を増やしていきたいと考えています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・同法人の事業所の放デイを利用しているお子様が多いため、標準化されたツールも踏まえたアセスメントを実施しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1		・支援開始前の打ち合わせは行うことができているため、必要な場合は打ち合わせを行うことを検討していきたいと感じています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・訪問支援員を主として、フィードバックの時間を作るよう意識をしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・支援の開始前に学校と会議を開催し、意見や意向のすり合わせを行っています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・支援の開始前に学校と会議を開催し、意見や意向のすり合わせを行っています。保護者とは半年に1度、モニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	・双方の都合もあり、会議の回数が限られているため、可能であればもう少し頻度を増やしていきたいと考えています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・できる限り、訪問支援員も参加できるように環境を設定しています。		
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2				

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2	・現時点では、移行予定の児童のみのため回答は難しい部分ですが、今後移行先との情報共有の強化を図っていきたく考えています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1		・外部の研修や専門職からの助言を受ける機会は設けていないため、必要があれば機会を設けていきたいと感じています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1	・今年度子ども部会に参加することができました。	・積極的に訪問支援に関する地域の会議に参加することができていないため、現状を把握するためにも今後必要があれば参加をしていきたいと感じています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・必要があればモニタリング以外にも、お電話やLINEにて情報を共有させていただいています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1		・プログラムを用いた家族支援は行うことができていません。今後保育所等訪問支援を実施していく際には検討していきたいと感じています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・契約時に説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・支援開始前に会議を開催し、説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・契約時に支援内容や流れの説明を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・必要があればモニタリング以外にも、お電話やLINEにて情報を共有させていただいています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		・放デイの活動でお祭りを開催し、保護者様を招待することができました。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・必要があればモニタリング以外にも、お電話やLINEにて情報を共有させていただいています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		・SNSにて事業所の活動内容をPRしています。	・保育所等訪問支援に関しては、プライバシーの兼ね合いもあり、大まかな内容は載せることができず、概要のみとなっております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		・情報伝達のためのツールをいくつか設定しております(電話・公式LINE・面談)	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・お電話や送迎時に担任の先生とやり取りを行う機会を設けております。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	1	・公の場としては設定していませんが、情報共有は送迎時やお電話を活用して、情報共有を行うことができています。	・必要であれば、関係者間でカンファレンスを行い、対象児に対する理解のすり合わせを行う機会を設定していきたいと考えています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・支援後、その日のうちに記録を作成し、気になる点はLINEにてご報告をさせていただいています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・お電話や送迎時に担任の先生とやり取りを行う機会を設けております。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			

46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			
----	--	---	--	--	--

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みなみの療育室 放課後等デイサービスみなみ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

分

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間でのコミュニケーションを密に行うことが出来ている	・ミーティングで、各職員が意見を出しやすい環境作りを行っている	・ミーティングを通して、職員間での情報共有や支援力の向上を図る
2	・定期的に社内研修を開催し、支援の質の向上を行う	・グループワークや事例検討等も取り入れている	・多様な分野の研修を取り入れる
3	・活動プログラムが固定化されず、様々な行事や活動を取り入れている	・専門職によるプログラム立案	・引き続き、子ども達が楽しく療育を受けられるようプログラム内容の充実を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時の対応の周知が十分にできていない	・避難訓練等を実施しているが、全保護者へ十分に伝わっていなかった。また、具体的な避難場所も周知が不十分であった	・BCPや安全計画を踏まえた資料を作成し、SNS等を活用するなど保護者へ伝える手段も含め検討していく
2	・地域との関わりが薄い	・地域性もあり、地域との関わりを密に行うことが難しい	・地域資源を活用したり、ボランティア活動に取り組んでいく
3	・保護者同士や兄弟間での関われる場が少ない	・ご家族が参加できるイベントを設けているが、保護者や兄弟間が関われる機会が少ない	・就労されている保護者様がほとんどのため、負担がないよう適宜保護者へ確認をしつつ家族間で関われる場を設けていきたい

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みなみの療育室 放課後等デイサービスみなみ

公表日 2026年3月2日

利用児童数 17 年月日

回収数 16

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3			・江川と比較すると三景台は狭いと感じる	・限られた空間ではありますが、活動内容や人数に応じてグループ分けを行ったり、時間差で活動するなどの工夫をしながら療育を行っております
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1			・子どもの状況に応じて対応してもらっている	・基準を遵守した配置のもと支援を行っております
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2		3	・利用始める前に見学をしたが、現在利用している時の様子を見たことがないため、分かりやすい環境なのか分からない	・建物の構造上、完全なバリアフリーが対応が困難な箇所もありますが、安全面に十分配慮しながら支援を行っております
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	・部屋を区切って工夫されている	・毎月、安全点検とあわせて環境点検を実施し、必要に応じて環境改善を行っております
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			・その都度子どもに応じた対応をしてくれていると思う	・今後も専門性の向上に努め、個々の特性に応じた支援の充実を図ってまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		・支援プログラムに基づき支援を行っており、今後も支援の質の向上に努めてまいります
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				・毎回モニタリングを行い、適切な支援計画が作成されていると思う ・子どもの特性や保護者の話を支援計画書に反映してくれている	・子どもの特性や保護者の意向を考慮し、課題の客観的分析を踏まえて個別支援計画を作成しております
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		・個別支援計画書に、各項支援内容を記載しております
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1		・個別支援計画書に基づき、目標に沿った支援内容を実施しております
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				・土曜や祝日の連絡を前日ではなく、もう少し早めにしてもらえると助かります ・色々な活動を盛り込んでくれています	・急な変更がないよう配慮し、特別な準備物がない場合には前日にLINEにてお知らせしておりますが、今後はできるだけ早めの連絡に努めてまいります
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	6		・公共の施設やボランティア活動等で交流できる場を設けております
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				・説明して頂いている	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	3	・1/31音楽療法楽しみにしている	・次年度より頻度を上げて実施できるよう検討しております
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16				・いつもアプリで報告してもらっている。何かあれば電話で話すこともあり、送迎時にもコミュニケーションを取れていると思う	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1		1	・まだ入所したばかりなので分からない ・モニタリングで沢山相談させてもらっている。また、アドバイスしてもらっている	・モニタリング以外では、送迎時または公式LINEやお電話にて対応させて頂いております
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				・悩みなど相談しやすい環境 ・寄り添ってもらっていると思う。 今度利用中の様子をみたい ・子どものことを常に考えてもらいながら支援してもらっている	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	1	3	・まだ入所したばかりなので分からない	・本年度は秋祭りで保護者会を開催しました。次年度より頻度を上げて実施できるよう検討しております
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		1	・モニタリングの時に、子どものことで相談させて頂いている。様々な対応方法を説明してもらい、知らないことがまだまだあるんだと感じた	・モニタリング以外では、送迎時または公式LINEやお電話にて対応させて頂いております	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回利用した際の写真やインスタを楽しく拝見している ・活動内容等、定期的に発信していると思う 	・ホームページに掲載しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13		3	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタなどの投稿は子どもの顔を隠して投稿されている 	・個人情報の管理については職員全体で重要性を理解し、適切な取り扱いを
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		10	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を利用した時はその日の活動内容を知ることが出来るが、利用日以外は分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業所の手引きにて保護者様が確認できるよう準備しております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		7		<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震、風水害、不審者対策の避難訓練を実施しております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10		6		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業所の手引きにて保護者様が確認できるよう準備しております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		3	<ul style="list-style-type: none"> ・事故等は本人のご家族には連絡していると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我発生時には速やかに保護者に連絡を行っております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> ・信頼している職員もいて、安心感を子どもも持っている 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日も以前は嫌がっていたが、現在はニコニコ手を振っていくようになり嬉しく感じている ・「今日はこれをするから」と毎回利用を楽しみにしている 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			<ul style="list-style-type: none"> ・通所するようになってから子どもの成長を感じている ・毎日違う活動内容に取り組んでおり、事業所だけでなくお出かけもたくさんしていて沢山の経験や体験をさせてもらっている 	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 2026年3月2日				
事業所名		公表日 2026年3月2日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		粗大運動等、身体を大きく動かしたい時は近隣の公園に行き、思いっきり動ける環境づくりを心掛けています	少し狭いと感じることはあるため、今後も活動スペースの工夫を継続していきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	入口付近の滑りやすさについては、滑り止めテープやマットを用いて対応を行っています	建物の構造上、入り口付近のバリアフリー化が困難。滑り止め等を使用し、急坂への対応を継続していきたいと思っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	事業所ごとに申し送りや共有事項を確認するMTGを開催しています	細かい情報が全職員に伝わっていない事例が発生しているため、報連相をより気に掛けていきたいと思います
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		園や相談支援事業所と連携を図ることはできているが、児童発達支援のサービスに関わるアンケート等の評価を行っていないため、今後取り入れていきたいと感じます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		2ヶ月に1回程度の頻度で、社内研修会を開催しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員による話し合いの場を設定し、子どもの支援方針を決定しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			フォーマルなアセスメントは、今後仕組みの中に取り入れていきたいと検討しています
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	専門職や指導員が相互にやり取りをし、子どもに合った活動内容を設定しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日々、活動内容を更新し、子どもに合った支援を見極めながら関わっています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		長期休暇等を活用し、年長さんと放デイの子どもが関わる機会を提供し、集団活動への参加を促しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	共有のためのMTGが行っています。子どもの変化や関わり方について職員間で共有しています	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	共有のためのMTGが行っています。子どもの変化や関わり方について職員間で共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々、記録を行い、保護者へご報告をしています。必要な場合は別途、ノートに記録をしています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			学校や相談支援事業所との情報共有はできていますが、主治医やセンター等の関わりも今後深めていきたいと思っています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	今年度、地域のセンターの研修に参加しました	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	モニタリング面談や送迎時に情報共有をさせていただいています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	ペアレントトレーニングにも般化できる研修に参加をしています	家族を対象とした研修の開催には至っていません。今後、家族支援については強化していきたいと考えています
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング面談にて確認をしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談や困りごとをお聞きし、必要に応じて、事業所で面談をさせていただいています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	年に1度お祭りを開催し、保護者様同士で関わる事ができる機会を設けております	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や困りごとをお聞きし、必要に応じて、事業所で面談をさせていただいています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムにて活動の様子を発信しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報伝達のためのツールをいくつか設定しております(電話・公式LINE・面談)		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域住民を招待するまでにはいまだ至っていないため、今後取り入れていきたいと思っています

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			